



弓削高校で見つける私の未来

弓削高校で学ぶ生徒たちは、島と人との関わりや寮生活、部活動を通してそれぞれの未来を描き始めています。今回は、1年生から3年生の4名に高校生活で感じたことや将来の夢、上島町の魅力について聞きました。

「支えられて生きていけると実感、人生の中で一番幸せ」

弓削高校を選んだ理由は先生と生徒の距離が近く、学校生活が楽しそうだったから。将来は心理学を学び、公認心理師の資格を取り、困っている人を支えたいです。上島町の魅力は人との距離が心地いいこと。地域の方から優しく、味噌づくりや子ども食堂などのイベントに誘っていただいています。地元高崎にはないつながりがたくさんあり、心の底から上島に来てよかったと思っています。皆さんとの関わりは人生の中で一番幸せな時間、支えられて生きていることを実感しています。



3年生
たなか ふうか
田中 颯夏さん
(群馬県高崎市出身)

「地元と関わりを持っていきたい」

少人数で一人ひとりを手厚くサポートしてもらえることに魅力を感じ、弓削高校を選びました。学校生活が始まって間もないですが先生方が優しく、新しく知り合った同級生とも気さくに話せて楽しんでいます。高校生活では茶道部や音楽部、また生徒会活動もやりたいと考えています。大学受験をしたいので公営塾に入り、英検など資格の勉強も進めたいです。地元の好きなのは自然が近く、地域のコミュニティが密なところ。将来の目標は決まっていますが、人の役に立てる仕事をしたいですし、地元に関わりを持っていきたいと考えています。



1年生
やまお かよ
山尾 果代さん
(弓削出身)

「地域の人と和気あいあいと関わりたい」

弓削高校を選んだ理由は、雄大な景色に惹かれたこと、先輩たちの温かい雰囲気大きな魅力を感じたからです。寮生活では、規則正しい生活を心がけ、自立心が芽生えました。人と話す機会も増え、人見知りだった自分が社交的になってきたと感じています。上島町で印象に残っているのは、昨年参加した生名のお祭りです。だんじりを担ぐのは大変でしたが、地域の方が気さくに声をかけてくださり、交流がとても楽しい時間になりました。これからも、地域の人たちと和気あいあいと関わりながら、上島町での生活を楽しくしていきたいです。



2年生
やまもと りひと
山本 理人さん
(千葉県流山市出身)

「誰とでも仲良く、親しみを持たれる教師に」

高校生活では、町外から来た先輩をはじめ、さまざまな人と関わる機会があり、日々よい刺激を受けています。のびのびと毎日を過ごしながら、青春を思いきり楽しんでいきたいと思っています。弓削高校を選んだのは、近年大学進学者が増えており、勉強に集中できる環境が整っていると感じたからです。分からないところは先生に気軽に質問でき、自然と学習習慣も身につきました。小学生の頃から、人と話すことや誰かに何かを教えることが好きで、将来は教育系の大学に進学し、教員を目指しています。誰とでも仲良くなり、親しみを持ってもらえるような教師になりたいです。



2年生
ますだ はるき
益田 晴生さん
(弓削出身)



▲ワーキンググループで将来計画を作成 (2026年1月)

中学生			小学生					
3年生	2年生	1年生	6年生	5年生	4年生	3年生	2年生	1年生
39	42	43	28	29	31	22	21	13

※【2026年度上島町内の小中学校生徒数（R8年4月1日現在）】

着々と歩みを進めてきた弓削高校ですが、少子化により大きな課題が生まれています。上島町の中学生は2026年度（令和8年度）現在1学年約40人ですが、6年後にはその半数ほどに減り、20人を下回る学年も見込まれます。町内出身生徒の弓削高進学率は例年5割前後で推移しており、このままでは県立高校再編整備基準の「入学生20名以上」を満たすことが厳しい状況です。また生徒の全国募集を行う高校が増える中、町外からの生徒確保も容易でなく、競争は年々激しさを増しています。こうした課題を踏まえ、教員、公営塾講師、学生寮スタッフ、役場職員が参加する「弓削高校魅力化ワーキンググループ」では、昨年度1年間をかけて魅力化将来計画を策定しました。

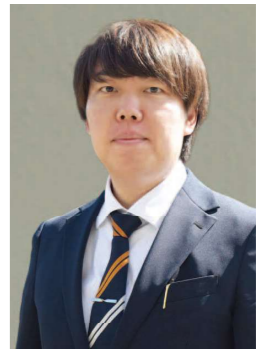
令和8年度から12年度までの5年間で、①高校の魅力向上、②生徒募集の安定化、③地域との協働体制づくり、④生活・学習環境の改善、⑤組織運営の安定化を柱に取り組みを進めます。計画では、地域産業の担い手を講師に招く授業の実施や、マリンアクティビティやサイクリングなど地域資源を生かした同好会の創設、卒業生のUターンを促す「産業フェア」の開催など、多様な施策を展開予定です。また、生徒主体の「魅力化広報チーム」を立ち上げ、町CATVを活用した情報発信も検討しています。

Interview 魅力化担当者インタビュー

「地域とつながりを持ち、挑戦する生徒を増やしたい」

2023年度から弓削高校の「ゆめしま魅力課長」として着任した川上裕大教諭。弓削高校の魅力について、「少人数のため一人ひとりに寄り添った指導ができ、公営塾もあるため学習支援も充実しています。さらに、起業部といった特色ある部活動や整備された学生寮など、生徒を受け入れ育てるための環境が整っています」と語ります。担当教科は商業・情報。魅力課長としては、総合的な探究の時間のカリキュラム作成や、全国から生徒を募集するための広報活動など、魅力化プロジェクト全般を担っています。募集活動を続ける中で、入学してくる生徒の

傾向にも変化が見えてきたといいます。「町内外を問わず、『高校生活を充実させたい』『何かに挑戦したい』という意志を持って入学する生徒が増えてきています」と手応えを語ります。今後の魅力化事業については、起業部や総探授業をさらに発展させるとともに、地域の特性を生かした新たな同好会づくりにも意欲を見せます。「表面的な関わりではなく、自主的に地域とつながり、さまざまなことに挑戦する生徒を増やしたい。学校全体で、そうした生徒を応援し支える雰囲気をつくってほしい」と展望を話します。



川上 裕大 教諭